

荒川の水位が変動し姿を変えているが…



問 長瀬は観光客を今も集めています。しかし、玉淀は水天宮祭などの開催時以外は、ほとんど観光客はいません。玉淀の現況をどのように考えているのか伺います。

答 県指定の名勝として知られている玉淀は、かつて多くの人が訪れていたと伺っています。現在は、指摘のとおり、イベントが開催される時以外は観光客は大変少なくなっています。

問 現状を変えるプランがありますか。

答 現在のところ、このように整備していくという計画はもっていません。

安全・安心な玉淀のために

問 玉淀の安全・安心、危機管理について伺います。

答 川の中に入って遊ぶことは大変危険であり、注意を促す看板も設置されているところと伺います。

問 玉淀河原におりる前の樹木の枝が折れて、落下したときに人に当たると負傷者が出る可能性があります。対策はありますか。

答 地主に話して、水天宮祭までには枝を切らせていただく予定です。

問 玉淀の今後についてどのように考えていますか。

答 玉淀は、町の宝であり、町民の憩いの場ですので、今後も皆様に足を運んでいただけるよう維持管理やPRに努めていきます。また、これまでの経過を踏まえ、今後の寄居町の観光に活かすことを総合的に考える時期と考えています。



玉淀の今後についてどう考えるか

答 憩いの場として維持管理に努めます

Kouji Ishii



28年10月の供用開始変わらないか

答 現時点で日程の変更はありません

Yasuo Tsukui

問 (仮称)寄居PAスマートICの進捗状況について伺います。

答 平成24年4月に連結許可後、25年度から用地測量、26年度より用地買収を開始しました。用地買収率は74%で、27年度も引き続き用地買収を進め工事に着手したいと考えています。

問 埋蔵文化財の住居跡が発掘調査されています。平成28年10月の供用開始が遅れないか伺います。

答 現時点では、スケジュールの変更はありません。

問 周辺の交差点の改良工事と歩道整備及び既存道路の拡幅、誘導看板設置について伺います。

答 アクセス道路は計画に基づき整備を進め、それ以外の町道については、地元関係者及び警察と協議しながら進めていきたいと思えます。また1市2町でアクセス道路への統一的な看板設置を予定しており、調整を進めているところと伺います。

かき 花卉・植木を活用した施設は?

問 (仮称)寄居PAスマートICを活用した町の活性化として、工業団地の計画と地域振興策である用土地区の花弁・植木を活用した観光施設の計画について伺います。

答 町の活性化において新たな拠点となり得る地域であり、周辺の土地利用について工業化等を進める地域へ見直すべく、調査・研究や関係機関との協議を進めています。観光施設については、第6次総合振興計画策定に合わせて研究していきたいと考えています。



寄居PAスマートIC完成予想図

寄居PAスマートIC



突風や竜巻の被害は近隣でも

住宅リフォーム助成

問 異常気象で突風・竜巻・土砂崩れ等が発生し住宅が被災した場合、復興には多額の費用がかかります。住宅リフォーム助成制度を拡充して災害にも適用し、町民の負担軽減と地場産業の活性化につなげることはできないか、町の考えを伺います。

答 町では、住宅改修資金補助制度を平成23年度から実施しています。この制度は、地域経済活性化を図るため、町民が町内の住宅改修業者と契約して居住専用住宅の改修を行う際に、その費用の一部を補助するもので、地震の被害等による屋根の改修工事や家の耐震改修工事などにも利用いただけます。

問 地震以外の災害等についても利用することが可能ですか。

答 利用できます。

助成制度の経済効果は?

問 過去の実績と経済効果はどうなのでしょう。

答 平成24年度は予算額400万円で32件、平成25年度は、400万円で32件、平成26年度は600万円で58件、平成27年度は600万円で現在21件の申し込みがあります。

経済効果は把握していませんが、補助金は工事費の10%、上限20万円までですので、補助金の10倍以上の効果があると考えています。

住宅リフォーム助成を災害復興にも適用して

答 被災による改修工事にも利用できます



Hiroshi Osawa

今後の北條まつりと流鏝馬の運営方法は

答 今年の結果を検証し検討します



Takashi Kanda

問 北條まつり(*3)と流鏝馬の、入場者数と経費を伺います。

答 北條まつりは5万人で補助金は700万円、流鏝馬は1000人で補助金は239万5000円です。

問 玉淀河原での準備段階で、備品の一部を勝手に利用されるなどの状況が見られましたが、防止策として一時的な封鎖や入場料徴収の考えはありますか。

答 過去において封鎖したこともありますが、玉淀河原は町民の憩いの場でもあるので、封鎖や有料化の考えはありません。

祭りの集約化でより賑わいを

問 北條まつりも流鏝馬も、運営の中心は役場の職員であり、地元住民の参加が少ないことが残念です。先般結成された宗像神社氏子青年会では、子どもたちを対象にお祭りや伝統文化の継承などを積極的に行っていますし、全町的にもさまざまな伝統芸能が残されています。

小田原の北條五代祭りでは、武者行列・お神輿・山車などさまざまなお祭りが集約され、より大きな賑わいを見せていました。

一例ですが、寄居町でもお祭りを一堂に会し、地元の皆さんが数多く参加し、地元根付いたイベントにすべきだと考えますが、いかがですか。

答 関係各位との意見交換の中で検討します。



北條まつりの備品が使われて……



(*3) 寄居北條まつり…豊臣秀吉の小田原攻めの際、鉢形城の北條氏邦は1ヵ月余り攻防戦を続けました。この戦いを再現したものが「寄居北條まつり」で、「議員隊」も武者隊パレードに参加、小田原市などとも交流しています。